

スギ花粉症の治療 小青竜湯など処方

Q 二十三歳、女性。ここ数年、スギ花粉症で悩んでいます。くしゃみ・鼻水や目がかゆくなり、ひどい時は眼球をとり出して洗いたいほどです。漢方で根本的に治るでしょうか。

A 漢方では花粉症への対症療法と花粉の飛んでいない時期の体質改善の二段構えで治療にあたる。

まず治療薬だが、胃腸が丈夫なら急性期には麻黄（まおう）を含む処方が多い。代表的なのは小青竜湯（しょうせいりゅうとう）である。くしゃみ・鼻水がひどく、朝ティッシュが離せないタイプに向く。鼻づまりが強く、うなじや肩がこる人には葛根湯（かつこんとう）が多い。鼻アレルギーには鼻茸（はなたけ）といって

鼻粘膜の発赤・ポリープ状の隆起を伴うものが多い。この症状には辛夷清肺湯（しんいせいはいとう）がきわめてよく効く。質問者のように目のかゆみの強い場合には越婢加朮湯（えっぴかじゆつとう）が即効性がある。

一方、胃腸の弱い人には胃腸にやさしい桂枝湯（けいしとう）、当归芍薬散（とうきしゃくやくさん）、苓甘姜味辛夏仁湯（りょうかんきょうみしんげにんとう）などを用いる。

花粉症の出ない時期には、漢方独特のバランス理論により免疫機構の改善を試みる。例えば冷え性、胃腸虚弱、生理不順、むくみなど種々の症状と漢方医学的診察から体質別に処方する。このことによつて年来の花粉症から解放されたと喜ばれる例をしばしば経験している。